

あなたも東京民研へ

2020年度研究員を募集

東京民研（東京の民主教育を進める教育研究会議）は、東京都教職員組合（都教組）が、「東京の子どもたちをすこやかにかしこく育てるために、教職員、研究者、父母の協力のもとに、憲法と1947教育基本法の条文に示された理念に基づき民主的な教育実践の創造と普及及び理論の研究をおこなう」ことを目的に設立したものです。

東京民研では、日常的な部会活動とともに、共同研究会、総括集会などを行っています。

東京民研では、2020年度研究員を募集しています。希望される方は都教組の各支部・地区協へ連絡してください。

東京民研部会紹介

国語

金田一淳子

小学校新教科書の批判・検討をしつつ、目の前の子どもから出発する国語の授業づくりを中心に研究を進めてきました。

若い人が率先してレポーターを引き受け、ベテランが実践の悩みに応えるなど、「役に立って楽しい部会」と好評です。

ぜひ、一緒に学んでみませんか。

外国語

安野 寿美

英語の民間試験導入延期、少人数・習熟度別授業、英語は英語で教える、小学校英語の教科化等々外国語を巡る問題が次々に押し寄せました。そのなかで希望を失わず、外国語を教える意義も忘れずにいられるのは仲間との研究活動があるからです。ぜひ一緒に学習しませんか！

算数・数学

岩村 繁美

練馬駅前の施設（金曜の夕方）や世田谷の公民館（土曜の午前）を中心に毎月部会を開催しています。おだやかな雰囲気の中で学び合い、参加された方は「明日の授業への意欲」をお土産に持ち帰っています。新教科書の扱い方なども話題にしています。気軽にご参加ください。

社会科

坂爪 邦雄

「小学校社会科教科書はどう変わったか」をテーマに、新教科書のもとでも実践をやつていこうと交流しています。

さらに「在日コリアンの私」と題して、中学校社会科の教員から、他では聞けない報告もありました。若手もベテランもともに学び合える部会です。

理科

高鷹美恵子

来年度から、小学校で使うことになっている新しい教科書について、指導法まで指定するような構成や、自然科学を教えるという視点での内容について、検討しています。毎月第2木曜日エデュカス会議室で部会をしています。参加、お待ちしております。

美術

竹内 美弥

毎回、研究員の職場で子どもの作品を持ち寄り討議しています。展示作品に目を向けたら道具の扱いを交流したり楽しく考えの深まる時間です。その場限りの発散や巧く見せる技術指導ではなく、子どもが伝えようとする内面を大切にしたいと実践を広げたいと考えています。

音楽

高田千津子

「音楽を通して学校に豊かな文化を」をテーマに年一・二回の公開授業を行っています。部員の実践を交流し、東京民研や組合教研の学びの場で確かめられてきた教材を子どもたちに渡すことによつて、豊かな授業を創りだす努力を重ねています。興味のある方はご参加下さい。

家庭科

谷内 香子

2020年度からの小学校家庭科教科書は、道徳的に子どもの学習を押し進める色合いが一段と濃くなっています。子どもの生活からスタートし、主権者としての生活者を育てる家庭科の学習を掘り起こしながら、皆さんと学び合いたいと思います。

保健体育

岩崎 明美

保健体育部会では、子どもたちが「わかる できる わかちつたえる」体育の授業を目指して学習しています。来年も一学期に先生方向けの水泳教室を行いたいと計画しています。みんな、どのように指導したら楽に泳げるようになるのかを研究しています。

生活科

高鷹 敦

幼児教育や教科との接続も視野に、生活科の学習方法―体験し、感覚でとらえたことを自分で言葉にし、友だちと話し合って深める
・生活科の学習内容―自然や社会（人間）の本質につながる事実の体験などを明らかにする研究をしています。

学校保健

中川 真紀

保健室には毎日多くの子どもが訪れます。心や体の不調から居場所を求めて来る保健室で、私たち養護教諭は、子どもの言葉に耳を傾け、目線に立ち、ありのままを受け入れることから始めます。今、多様性が求められる学校保健。大いに交流し、議論しましょう。

進路指導

岩井 紀子

子どもの成長・発達・人として生きていく道すじをどう励ますか？またそれが歪められている原因は何か？部会は、「中・高の接続の問題」だけでなく、教育制度や教育内容全般にわたる視点から中等教育の様々な問題を討議しています。

障害児教育

杉山 敏美

子ども理解と授業づくりを基本に、二月に一度の割合で開く部会で現職教師たちが障害児教育の「今」の実践を報告し合っています。今年は、算数・数学の学びの文化的価値をどのように伝えるか、子どもたちの自己の確立をどのように育むのか等々を論議しています。

文化活動

山川 政志

学校では、増えた授業時数のため子どもたちの感性を豊かにする文化活動や学芸会、演劇教室などがどんどん削減されています。そうしたなかでも、より良い文化を子どもたちにと頑張っている現場もあります。そうした実践や経験を持ちより、交流しあいましょう。

生活指導

林 生信

生活指導部会は、学級づくりに関する様々な問題や課題を取り上げて、検討・学習しています。例えば、「子どもに寄りそう」ということが具体的にはどのようなことか、「愛着障害」とはどのような状況をしめすのか、などなどを実践的に追究しています。

職場の民主化

西田 昭司

人格の完成をめざす教育は、教職員が自由に意見が言えて、民主的に物事が決められる職場でなければ実現できません。そんな職場をどうつくっていくのか、どんな努力をしたらよいのか、そんなことを研究しています。現場の方の参加を期待しています。

教育条件整備

亀井 雄一

私たちは、子どもたちのために教育条件整備をどのように行えばよいかを研究しています。部員は、学校事務職員が中心です。学校現場から「学校事務の共同実施」の名のもと、事務職員が引き上げられている現在だからこそ、私たちといっしょに考えていきたいと思います。

学校給食

星名久美子

『給食・食育で子どもが変わる』これは、学校給食部が2016年に新日本出版社から出版（新村洋史編著）した本のタイトルです。本書出版後、「食に関して議論する場を増やそう」ということになりました。あなたが大事だと思っていること、話し合って確信に変えてみませんか。

地域・学校づくり

松本 恭子

子どもも保護者も学校も、ゆとりのない毎日。学校には、子どもや教職員を一層苦しめる「働き方」改革と称した変形労働制も持ち込まれようとしています。

みなさん、ぜひ参加して、地域や学校のようにや課題、取り組みについて交流し、学び合いませんか。参加を待っています。

平和教育

佐藤 康高

憲法9条の改悪をめざす政権、元徴用工問題に端を発した日韓関係の悪化の背景にある植民地支配への無反省の政権、軍事強化に傾く政権、

そうした下で学校教育のなかで如何に平和学習・教育を追究するのか、私たちの部会が抱える課題です。

道徳（心の教育）

矢澤 正道

教科書は、国の決めた徳目を押し付けるものばかり。しかし、先生方は、子どもに寄り添う努力をしています。中断読み、結論を押し付けないオープンエンド、など。また、子どもの作文などの自主教材なども取り上げています。

実践を持ち寄り学び合いましょう

ジェンダーと性の教育

天沼 文

毎月、第四金曜日の夜、エデュカスで部会を開いています。今年度は、性教育に対する介入を許さない活動をしたり、中学校の道徳の教科書をジェンダー視点から検討したりしました。まだまだ多い不平等に目を向け、人権を大切にすることを進めたいと考えています。

2019年度

東京民研総括集会

今年度、小学校の教科書採択が行われました。この教科書は、2006年に改悪された「教育基本法」の具体化である新学習指導要領に基づいて作られたものです。教える内容はもちろん、教師の教え方までも決められています。さらに分厚くなった教科書には現場の苦悩が見えてきます。一方で「変形労働時間制」導入の企みなど、教員に困難を強めています。

こうした課題に取り組み、実践・研究を一層進めるため、ぜひご参加ください。

日時 3月21日（土）10:00～16:30

会場 エデュカス東京5階B会議室

紹介文には掲載されていませんが、技術科部会、幼年教育部会、人権と教育部会、教育評価部会もありますので、希望される方は、ご連絡ください